



9 番  
伊藤 厳 議員

### 位山自然の家について

①学校教育に対して位山自然の家が果たしてきた役割は。

#### ◆教育長

自然の家はセカンドスクールの役割として有効に活用しています。子どもたちにはこの自然の恵み、役割を肌で感じて学んでほしい。そしてこの豊かな自然を後世に残してほしいと願っています。

### ②耐震化の方向性は。

#### ◆市長

耐震診断の結果と、施設が建っている場所は土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）に指定されており、利用者の安全、安心を第一に優先すると、現在の場所耐震化して今後も使用することが、非常に難しいと考えています。ただし山之口区の皆さまとは、今後の施設のあり方などについてしっかりと協議をしながら対応を考えていきます。

### 図書館整備の進捗状況について

#### ①図書館の担う役割と重要性は。

#### ◆教育長

近年図書館が担う役割は、単に

本を貸し出すだけの施設から、学生や地域の皆さんの学びの場として生涯学習の拠点、子育て支援や高齢者の活動の場など、強いては総合的なまちづくりの一翼を担う施設として、さまざまな機能を有した複合施設的な役割が求められると認識しています。

②図書館整備の進捗状況と新年度に向けた展開は。

#### ◆市長公室長

現在、社会教育委員会を中心に、下呂市立図書館のあり方研究会を設置し、下呂市における図書館のあり方について、検討をいただいています。今年度内には将来の下呂市を見据え、必要な機能を備えた地域に愛される図書館像など、具体化した提言を取りまとめたい。ただくようお願いしています。来年度はこの提言を基に、次のステップに進めていきたいと考えています。

### 中山間地域を守る下呂市の農林振興対策

#### 農林業の担い手確保について。

#### ◆市長

農業者、林業者が誇りを持って仕事ができるよう、市としてしっかり支えていける、そういった予算編成を令和2年度は考えていきます。



7 番  
宮川 茂 議員  
(日本共産党)

### 昨年の災害を振り返って

昨年の豪雨災害は、各地域に大きな被害をもたらした。大きな災害箇所は、国、県の災害復旧工事が進められ、整備されてきている。しかし中小河川には手がついていない箇所も多く見受けられる。そうした場所について、市はどこまで把握しているのか。把握している場合、その対策について伺いたい。

#### ◆建設部長

中小河川や公共災害に付随する箇所を含め、公共災害以外の状況は、地域の区長さんなどからの情報や職員による点検により23箇所を把握しましたので、今回の9月定例会に補正予算として上程しています。

### 旧下呂温泉病院跡地の駐車場利用について

現在空き地になっている旧下呂温泉病院跡地は、観光客が多い時期など駐車場になることがあるが、これは一時しのぎの使用なのか。将来を考えるとつきり臨時とわかのように明記して使用すべきでは

ないか。跡地は市営の駐車場であるかと誤認されないようにしていただきたい。

#### ◆観光商工部長

旧下呂温泉病院跡地は平成28年4月に下呂市湯けむり広場条例を制定し、設置目的に沿って使用申請を提出の上、許可書を交付し利用いただいています。現在は、申請があった期間のみ臨時駐車場として暫定的に利用を認めています。臨時であることを明記した看板などを設置するよう指導していきます。

### 平和に関する展示啓蒙について

原爆写真展が市役所下呂庁舎内で8月9日から23日に行われた。非核平和都市宣言を行った市であり、引き続き毎年こうしたことを行っていたきたい。また、展示の写真はサイズが大変小さく、近づかないとどういふ写真なのかわからない大きさであった。せっかく展示するのであれば、タイトルを表示し、来場者の目に留まるような対応はできないか。

#### ◆総務部長

このポスター展は、来年度以降も継続し行っていくとともに、議員にご指摘いただいた展示方法などについては、来年度以降工夫をしながら行っていきます。



13 番  
中島達也 議員

**市長任期満了を控え総括を伺う**  
市長残任約6カ月となり公約の達成などどのように総括しているのか。また、残任期間への決意を伺う。

◆市長

「まちづくりは人づくり」魅力ある下呂市づくりを目指して4つの基本理念のもと進めてきました。女性の輝きの場として、「いろいろ」の皆さんが子育てしながら仕事ができるよう進めています。地域づくりでは、地域おこし協力隊12名の方が下呂市で活動し、うち3名は地元で定住していただくことができました。また、昨年の豪雨災害を受け防災力の強化については、最重要課題として今後も進めていかなければなりません。大型事業ではクリーンセンター、北部・南部給食センター、最終処分場も地元のご理解をいただき進めることができました。今後も地域の皆さんが安心で、希望をもって住むことができる町を目指し、まい進していきます。

**運転免許更新時における高齢者講習施設の確保について**

6月議会で取り上げたが、運転免許更新時における高齢者講習施設の確保について、その後の対応を伺う。

◆市長

高齢者が地元で講習を受けていただけるよう、担当部で検証し、存続に向け検討しています。新年度に向け確実に答えを出していきます。

**昨年の豪雨災害の復旧状況は**

昨年の豪雨、台風により当市は未曾有の被害を受けた。復旧状況は。

◆建設部長

道路災害25カ所、河川災害69カ所、橋梁災害3カ所、他1カ所において復旧作業を進めてきました。8月末現在の進捗率は50%となっています。

◆農林部長

昨年度、国の農業用施設災害復旧事業に採択された復旧については、全て工事を完了しています。

◆ハザードマップの見直しは

◆市長公室長

ハザードマップは今年度から順次見直しを行います。地域の皆さまとグループワークなどで、自分の地域がどうなっているのかを認識していただきながら見直しを進めていきます。



10 番  
一木良一 議員

**小坂町大島谷橋整備工事の進捗状況について**  
早期完成に向けさらなるスピードアップを。

◆市長

上部工は、桁の工場制作が必要で期間を要するため、上部工を前倒して発注し、橋台施工後早期に桁を架設できるようにします。次年度への繰越工事になることが予想されますが、完成が早まることは明確です。

**下呂市公共交通の現状及び課題と対策について**

①今後廃止予定のバス路線について。

◆生活部長

濃飛バスは馬瀬地域の馬瀬線と小坂地域の下呂湯屋線、どちらも令和2年4月からの撤退を表明しています。

②バス路線廃止に伴う地元住民、交通弱者への対応について。

◆生活部長

馬瀬、小坂地域は路線の撤退により市民の生活に大きな影響を与えることから、デマンドバスの運

行を提案しご理解をいただいています。市は今後も公共交通を継続的に維持し、交通弱者への交通手段の確保に努めます。

③住民ボランティアによるバス運営事業に対する市の助成を。

◆生活部長

ボランティアで輸送行為を行う場合は、性質上、道路運送法の法的な規制の対象外となるため助成する制度はありません。

**下呂温泉病院勤務医のために、市による住環境の整備を**

国、県、岐大と連携しながら進めるべきと考えるのがいかがか。

◆健康福祉部長

下呂温泉病院移転に関する覚書の中でも、医師住宅確保への協力に関する事項が盛り込まれています。今後も下呂温泉病院、医師会などと連携し、地域医療を守るため、医師確保支援策の一環として、住環境整備についても下呂温泉病院と連携を取りながら進めていきます。





14 番  
中野憲太郎 議員

**教育長に就任されての所信を**  
学校教育の中でどのような子どもを育てて行くのか、新教育長の考えを聞かせていただきたい。

◆教育長

「ふるさとの風を感じ、生き生きと輝く姿を求めて」という言葉を基に、3つの思いを述べさせていただきます。まず一つ目はふるさとを愛し、ふるさとを誇りに思い、次の世代へとつなげることのできる子。二つ目は自分らしさを思う存分発揮できる子。3つ目は自他の人権と命を大切にすることです。この3つは学校だけで成し得ることはできません。地域・家庭・学校が願いを共有し、それぞれが役割を自覚し責任を果たしていく、そんな教育を願っています。

**学校教育予算の確保について**

これまでも度々聞いているが、間もなく新年度予算編成作業が始まる。学校教育予算についての課題と、来年度予算の方向性は。

◆教育部長

施設改修については、大規模改修など国の助成を受けられる方向

で整備を進めていく予定ですが、教材や備品なども、更新や整備の必要なものが増えてきている現状にあり、一歩でも二歩でも着実に前に進めていきたいと考えています。

**市役所の組織見直しを行った成果**

振興事務所の課長を廃止し所長が兼務するなど、組織の見直しを行ってきたが、その成果と課題は。

◆市長

これまでの組織の見直しにより、職員の給与や管理職手当等の人件費は合併当初と比較して大きく削減されましたが、昨今の業務の高度・複雑化が進む中、部課長は監督業務など範囲が広くなり、また職責も重くなってきました。また、職員採用の抑制により年齢バランスに大きなひずみが生じていることを踏まえ、これまでの組織の見直しの検証と今後の定員適正化計画を見直し、適切な職員採用・人員配置について検討していきます。



萩原振興事務所

# 市内視察

## 総務教育民生常任委員会

〔7月16日〕

◆視察先・内容

**1 下呂市立わかばこども園**

①休日の園庭開放について②病児保育に係るニーズ対応について③通園・園外活動時における安全対策について④大規模改修について説明を受けました。

休日の園庭開放については、外から園庭が確認できない構造のため防犯カメラを設置し開放したいと説明がありました。また滋賀県の園児交通事故を受け、園外活動を行う場合は事前に下見を行い、危険箇所の対応などを記した「遠足等園外保育届出書」の作成や、警察にも連絡するなど、引率者含め8〜9名で担当しており、安全に配慮されていました。

**2 厳立峽ひめしやがの湯**

民間譲渡後の運営状況について、社長及び役員から現在の運営状況について説明を受けました。

4月15日のオープンから3カ月が経過した現状は、灯油の値上がりや電気代、人件費などの経費が思った以上かかるため、今後改善が必要なことや、平日の集客のため、送迎サービスの実施を計画してみえます。地域の熱い思いを受けて譲渡された施設であり、みんなで盛り上げて行きたいと説明がありました。

**3 下呂市北部学校給食センター**

8月から運用を開始する給食センターの準備状況を視察しました。スタッフは栄養士3名と調理員28名からなる6班集体で調理し、メニューによって配置を変えるところです。新施設は徹底した衛生管理体制のもと調理をする説明を受けました。これからは児童・生徒に安全で美味しい給食がとどけられます。



新しく設置された機器の説明を受ける委員